

経営比較分析表

熊本県 苓北町

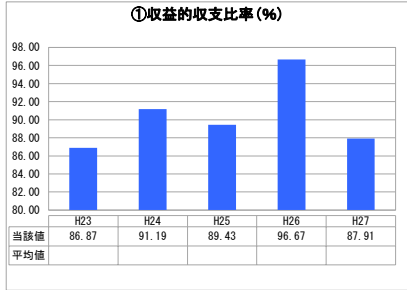
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	77.36	92.73
1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)			
2,750			

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,732	67.57	114.43
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,901	2.53	2,332.41

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



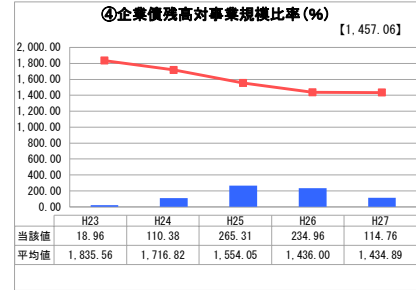
「単年度の収支」



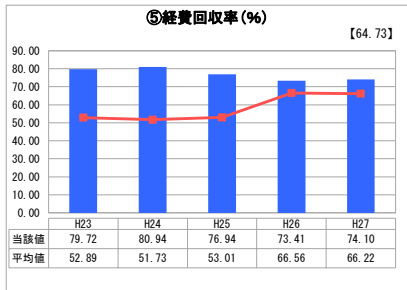
「累積欠損」



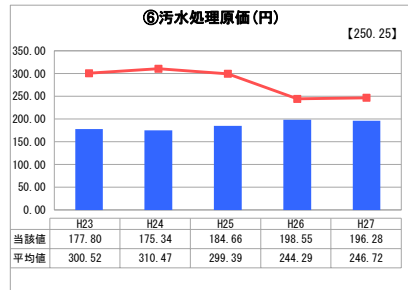
「支払能力」



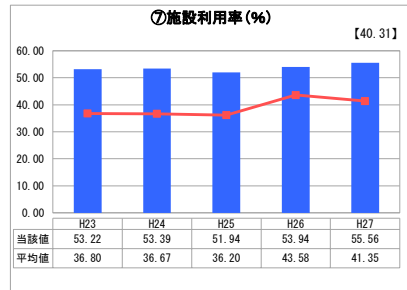
「債務残高」



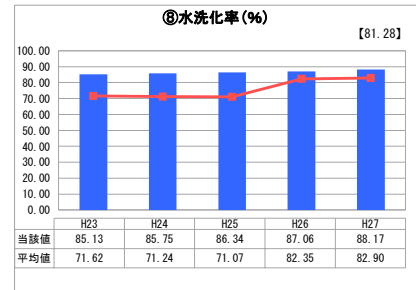
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

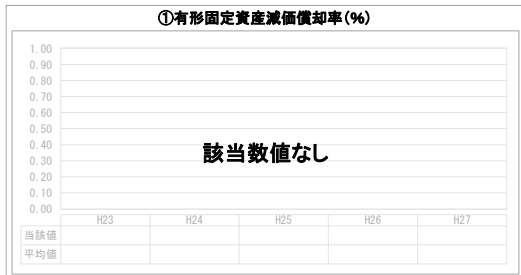


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

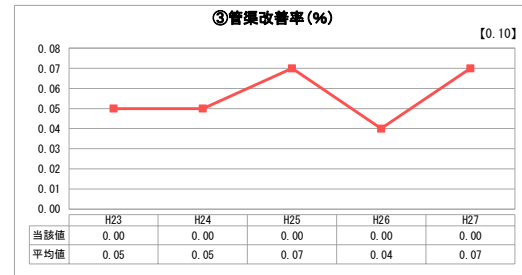
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

- 収益的収支比率は人口の減少により使用料も減少しているため、一般会計繰入金に依存している。平成28年度に使用料を改定したため、今後の改善が見込まれる。
- 起債残高については、大規模な事業がないため減少傾向にある。
- 汚水処理費を使用料で賄えてはいないが、料金改定後の改善を期待したい。
- 汚水処理原価については、全国平均を下回っている。今後も維持管理費の節減に努める。
- 施設利用率は、全国平均を上回っている。
- 水洗化率は高いが、人口減少により使用料は減少傾向にあるため、さらなる接続促進に努めたい。

2. 老朽化の状況について

供用開始後16年が経過し、施設の老朽化も見られる。また、沿岸部に位置するため塩害の対策も必要とされる。今後は長寿命化計画に基づき、効率的な改築、更新を行っていく。

全体総括

下水道事業の経営の健全性は、一般会計からの繰入金に頼らざるをえない状況のため、今後は使用料の増収、適切な維持管理による経費節減に努めていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
 ※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債務高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。